園だより

2025. 7月

認定こども園　下関短期大学付属第二幼稚園

山口県下関市彦島塩浜町２丁目2-21　☎　083(266)5821

「ヒト・モノ・コト」との出会いの拡充とふれあい体験の促進

今年は異例の早さの梅雨明けとなりましたが、本園は梅雨明けを前に待ちに待ったプール開き。眼下の福浦湾に園児たちの歓声が響き渡っています。今年も楽しく安全にプール活動を行います。今年度は、ＰＴＡ一人一役活動の一つにプールの監視手伝いを加えていただき、大変心強く思っているところです。暑い中ありがとうございます。

さて、表題は今年度の重点取組の一つです。子どもたちの主体的な遊びを保障するには、園の資源だけでは限界があります。例えば、先日のバケツ稲栽培。子どもたちが挑戦したいという思いを実現するために、ＪＡ彦島支所の協力をいただきました。

彦島には豊富な資源があります。自然、海運・水産業、工業、歴史、そして経験豊かで教育熱心な人材にも恵まれています。地域資源を活用することにより子どもたちはたくさんの人とかかわります。

「子どもは地域の宝」、まさしくそのとおりですが、実は「地域も子どもにとっては宝の山」なのです。

本園は、これまでも地域とのつながりを大事にしてきました。塩浜町清掃活動への参加や介護老人福祉施設アイユウの苑しおはまでの交流、児童館ひこまるでのイベント協力など、園児も職員も積極的に地域に出て活動しています。また、上図のように園のわくわく山を地域の子どもたちに開放するイベントも２年前から行っており、早朝から昆虫少年たちが大勢やって来るようになりました。地域の夏祭りにも園からも出店し、カブトムシをおすそ分けしました。さらに、昨年度彦島文化祭にも参加要請を受け、さくら組の鼓隊演奏を披露。今年度も参加させていただきます。

彦島。昭和の高度経済成長期にはこの小さな島が人口５万人に達し、人口密度は 4,000 人/km^2 超と大都会並みに膨らみました。ちょうどその頃に本園も開設。以来彦島に育てていただきました。

やがて、企業の撤退、規模縮小とともに人口が減り続き、当時の社宅、商店街は少しずつ姿を消していき、空き家や空き地も目にするようになりました。今の人口は 24,000 人。高齢化も進み、活気に満ちていたかつての彦島の面影はほとんど見られなくなってしまいました。

このような状況にある彦島の園や学校が担う役割は明白です。「彦島の子どもたちに、最高の教育・保育を提供すること」。彦島にとって大いに存在価値があり、地域の皆様に愛され、下関に誇れる園や学校になれば、彦島が元気を取り戻し、再び人も集まってくるはずです。そのような園づくりを目指し、本園の経営理念も「彦島のために」を大義に掲げています。そして、彦島に育てていただいた恩返しとして、子どもたちのために研究・研修に一層励むとともに、今年度はさらに地域のヒト・コト・モノとの新たな出会いを求め、園児と地域の人たちとの交流を広げます。そして、園児も宝、地域の人たちも宝として互いに輝き続けてほしいと願っています。（園長　寺本　明生）

下関短期大学付属第二幼稚園主催 カブトムシフェスタ

あつまれ こんちゅうの森

令和７年７月２６日（土）

午前６時～８時（受付は７時半まで）

集合場所　下関短期大学付属第二幼稚園（しものせきたんきだいがくふぞくだいにようちえん）

下関市彦島塩浜町２丁目-２-２１

- 第二幼稚園の山（栗・クヌギ林）を昆虫大好きな子どもたち（幼児や小学生に開放します。前日にカブトムシなどを集めるえさを吊るしています。
- 事前の申し込みはいりませんが、必ず保護者といっしょにご参加ください。
- 雨天時は中止となります。中止の場合は、当日の朝５時にホームページでお知らせします。
- 参加料はいりません。また、ゲットした昆虫は自由にお持ち帰りください。
- くわしくはホームページをご覧ください。
- お問合せ先　☎０８３-２６６-５８２１（第二幼稚園）